

2022年
4~6月

イベント・情報広場

池田市内で活動する団体のイベント情報をお知らせします

こいし・こども矯正歯科いけだ地域栄養士会 葉菜の会(共催) みんなで一緒にうちごはん離乳食実習～

- ・日時:2022年4月24日(日)10:30～12:30
- ・場所:池田市保健福祉総合センター3階調理実習室
- ・内容:「赤ちゃんのお口の育ち」と「取り分け調理」のお話と実習(試食)
- ・対象:7か月ごろ～1歳半までの乳幼児の保護者
- ・定員:6組(1家族で1組)
- ・参加費:大人1人1,000円
- ・持ち物 エプロン・三角巾・マスク
- ・申し込み・問い合わせ先:こいし・子ども矯正歯科(Ta.072-734-7809)
- ・申込期限:4月18日(月)

オリオン

うちで楽しむコンサート



- ・日時:2022年5月・6月・7月(全て1日より公開)
- ・内容:「=街のいい所とコラボ音楽会=」5月『絵本「木」と共に』～一寸一休(稔工務店)～、6月『水と月』～水月児童文化センター～、7月『葉菜園レシビ』装飾音で飾って(葉菜の会さんとコラボ)～A☆tocoro～
- ・YouTube:
https://www.youtube.com/channel/UCZ8GI_yrLml5epfyKLmwWwQ
- 各月の内容テーマで検索して下さい(視聴無料)
- ※次にコラボしてくださる「いい所(場所やお店など)」を募集!
- ※生演奏もボランティアにて承れます。
- ・問合せ先:大鶴(Ta.090-9861-5526)



YouTube

にじいろピクニック

にじピク ガレージフェス

- ・日時:2022年5月29日(日)10:00～15:00
- ・場所:本唱寺 池田市天神1-12(アゼリアホール近く)
- ・内容:世代や属性を超えて、子育て世代を応援し学びあう仕組みづくりに取り組む「にじいろピクニック」は、音育と食育をかけあわせたイベント「にじピクガレージマルシェ」を開催します!リトミックやフード、おさがり交換会、手作りマルシェなど、各コンテンツの主役は、子どもやママたち。「にじいろピクニック」の音育・食育活動内容を地域に発信しながら、イベントを通して「フードロス」「ごみ問題」などの身近な問題を考え、共に行動し、それぞれの個性を認めあえる関係性を育みます。
- ※雨天時は内容を変えて実施
- ・参加費:ブースによります
- ・申し込み・問い合わせ先:にじいろピクニック 吉田(Ta.080-4239-8844)

※新型コロナウイルスの影響でイベントが中止になる場合がございます。開催状況については主催者へお問い合わせ下さい。

池田市公益活動助成金は、ひろく市民が 申請できる制度に改定されました!

活動支援コース

- 上限:5万円、2/3助成
- 申請期間:2022/4/1～2023/3/13
- ※随時受付、予算がなくなり次第終了

発展支援コース

- 上限:50万円、1/2助成
- 申請期間:2022/4/1～28



佛日寺寄席実行委員会

隠元禪師350年大遠忌佛日寺寄席 社会人落語会

- ・日時:2022年5月29日(日)14:00～16:00
- ・場所:佛日寺本堂
- ・内容:池田は落語のまち。落語を通し町の活性化に、またお寺の門戸を開放し地域の人との交流の場にしたいと思っています。そのために、池田で開催されている「社会人落語日本一決定戦」の優勝経験者やファイナリストを迎えての楽しい落語会です。
- ・参加費:500円
- ・申し込み・問い合わせ先:渡邊(Ta.090-3658-7804)

情報誌トアエルは4月、7月、10月、1月(毎回10日)に発行予定です。イベント等の掲載やチラシの挟み込みを希望される方は、発行前月の10日までに事務局へご相談ください。メールマガジンでは、団体のイベント情報、助成情報なども配信いたします。配信・掲載を御希望の方はinfo@toaer.jpまで必要事項をお知らせ下さい。●配信希望:氏名、所属団体名、電話番号、配信先メールアドレス●掲載希望:イベント名、主催、日時、場所、内容、参加費、申込み・問合せ先など

情報誌 トアエル

第17号(年4回発行)

発行所:いけだ市活動交流エンジン「トアエル」
(池田市公益活動促進協議会)
〒563-0058 大阪府池田市栄本町9-1
池田市立コミュニティセンター内
TEL 072-750-5133 FAX 072-750-5125 E-mail: info@toaer.jp

発行日:2022年4月20日
デザイン:株式会社バード・デザインハウス
印刷:セイコープロセス株式会社

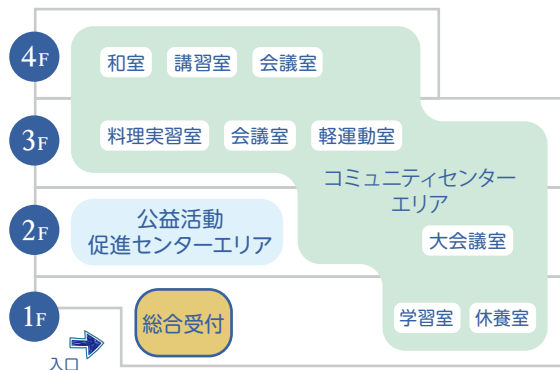


<https://toaer.jp>



【募集】広告でトアエルを応援しませんか

情報誌トアエルは、現在4,500部を発行しています。紙面の充実や増刷発行に広告を通じて応援いただける方を募集しています。また、広告等に優待のある団体賛助会員や寄付についても随時受け付けています。寄付は、いただいた金額と同額を池田市が公益活動基金に積み立てるマッチングギフト方式が採用されています。詳しくは事務局までお問い合わせください。



(12月29日から1月3日は全館休館)

コミュニティセンター(通称:コミセン)

さまざまな用途で利用いただける貸室があります。
●開館時間:9時～22時(月曜休館)

公益活動促進センター(通称:センター)

社会貢献活動を行うためのサポートや貸室があります。

- 開館時間:9時～19時(月曜、日曜・祝日休館)
- ※貸室:前日予約により日曜・祝日利用、21時までの利用が可
- ※日曜・祝日:ロッカー利用可、17時閉館の場合あり



阪急電車「池田駅」下車 徒歩7分

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

2022年春号

toaer vol.17
spring 2022



1日がかりの オンライン イベントを開催!

約40団体が参加する1日がかりの
オンラインイベント「トアエル文化
祭&カレッジ」を開催しました!



2/26^土

に、人や団体同士をつなげ交流を促進するプロジェクト『トアエル文化祭 & カレッジ』を開催しました。トアエルにとって単独では初のYouTube Live(視聴のみ)+Zoom(参加型)方式での配信でしたが、生放送中のアクセス数は357回、アーカイブの総再生回数は700回以上(3/24現在)となり、多くの方にご視聴いただいています。特に、池田で活動するたくさんの団体のみなさまにご出演・ご協力いただき完成した「団体紹介CM動画」は視聴者アンケートでも評価が高く、活動を多くの方に知ってもらえたのはトアエルにとっても嬉しいことでした。現在、コミュニティセンター1階ロビーにて「団体紹介CM動画」を放映中です。お立ち寄りの際はぜひご覧ください。

当日までの準備期間

企画から各団体のご出演アポイント取り、撮影・編集、タイムスケジュールの調整、会場レイアウト、4回のリハーサル、機材運用、そして当日の生配信まで...! 多くを学びながらやり抜いた3ヶ月間となりました。



当日 & 動画ギャラリー

しあえる

トアエル文化祭&カレッジで「池田にこんなにたくさんの市民活動者がいるんだ!」と驚きました。私たち商店と市民活動の接点が今後持てそうで楽しみです。私たちもその後、Facebook Liveで生放送にチャレンジするなどいい影響をもらっています。



NPO法人こもれび相談室



前もって撮影した3つの活動紹介動画を放送いただきました。動画自体が良い出来で、今後も団体の広報素材として活動を後押ししてくれそうで嬉しいです。オンライン団体交流会では、活動されている方の生の声が聞けて、共に頑張る友人になったような気持ちに。活動を前向きに進めていく元気をいただきました!



NPO法人「絵本で子育て」センター 池田・豊中支部



つながるきっかけにもなりました。春の日差しのようにあたたかい「トアエル文化祭&カレッジ」になりましたね。トアエルYouTubeチャンネルでゆっくり見返したいと思います。

トアエルスタッフと何度も検討を重ねて事前収録した動画が無事に配信できてよかったです。オンライン団体交流会にもZoomから参加し他の団体と

オンラインに
知って
応援してもらい...

市民活動の祭典 トアエル文化祭 & カレッジ を行いました!

葉菜の会

今回の動画企画・撮影・編集へのチャレンジが、会全体のスキルアップにつながりました! ダビンチリゾルブという無料の編集ソフトの使い方をトアエルから教わり、ためになりました。今回得たスキルを今後の活動にも積極的に活用していきたいです。



オリオン

ずっと「やってみたいけど難しそう」と思っていた視聴者参加型のオンラインライブ配信が実現できてとても嬉しいです! 市民のみなさんと音楽を作る喜びを共有できたのは、トアエルのサポートがあつてこそ。私たちの経験値もアップしたので、今後の配信に活かしていきます。



オンライン団体交流会

様々な活動をされている団体さんを知ることができ、活動内容も具体的に話が聞けて良かったです。オンラインではありましたが、顔をみて話を聞いたことは書面上の紹介とは別の意味で有意義でした。今後も沢山の団体さんとコラボしたり協賛したりして、より良いまちづくり、地域づくりなどに関わっていけたらと思います。(参加者より)



中間支援交流会

スタッフの皆さんの努力とチームワークで、素晴らしいオンラインイベントが実現できていてお見事でした。自分自身の活動を振り返る機会になり、資格取得を目指していた頃の熱い気持ちを思い出せました。あと、YouTubeデビューを孫に自慢できました(笑)。今後も対話を大切にしながら地域に貢献していきます!(ゲストの中小企業診断士より)



はじめてのZoom講座

スマートフォンへのアプリダウンロードからオンライン会議室への入室、カメラを使った顔出しまで一連の流れが学べました。今度は会議の主催者側になる練習をして、いつか総会や講座をオンラインでやってみたいですね。(参加者より)

(参加者より)

toa el

市民活動団体の皆さんと共に取り組んだ今回のオンライン配信。準備期間と当日5時間半という長丁場を乗り越え、みなさまのニーズに合わせたオンライン支援ができる体制づくりが整ったように感じています。我々が団体に伴走していく上で撮影を通じて皆様をより深く知れたことは大きな成果でした。今後も、オンライン機器利用の説明や交流会の定期開催などを通じて、お互いに成長できればと思います。

ご参加・ご視聴・応援いただきましたみなさま、誠にありがとうございました!



NPO法人
「絵本で子育て」センター
池田・豊中支部

(写真右より)
大長 咲子 さん：副理事長、絵本講師
藤川 清恵 さん：池田・豊中支部長、絵本講師
多本 ゆき枝 さん：絵本講師



池田市でうわさのあの人にtoael記者が 突撃インタビュー！



長年、池田で丁寧に活動してきた「絵本で子育て」センター池田・豊中支部の皆さん。他の地域活動団体との出会いやオンラインへの挑戦で、活動の可能性を広げている皆さんに、お話を聞きました。



『絵本で子育て』
センター池田・豊中支部
のこうなったら
いいな

市民活動団体や地域の
方々、そして新たな仲間との
出会いを増やしたい

絵本で子育てする喜びを 子育てに関わるすべての人へ



子どもとともに育ち合う
宝物のような読み聞かせの時間

-皆さんは、どのような活動をしていますか？

藤川：私たちはNPO法人「絵本で子育て」センターに所属している絵本講師です。絵本講師は全国各地で絵本講座を開催し、家庭に言葉を取りもどす、子育てにいかにか絵本が必要か、絵本で子育てする楽しさや大切さなどをお伝えしています。講座では、絵本の魅力や電子メディアの弊害、家庭での絵本の読み聞かせがはぐくむものについて、子育てに関わるすべての方々と一緒に考えています。

多本：池田・豊中支部としての活動は、公民館講座としての絵本講座を池田市中央公民館にて15年近く継続しています。毎年、未就学のお子さんと親御さんがたくさん聞かされて下さいます。また、子育て支援拠点や子育てサークルからお声をかけていただき、ミニ絵本講座をすることもあります。2021年には池田市立コミュニティセンターで自主的な講座を企画開催しました。月に一度の定例会では、活動について話し合い情報交換をしています。

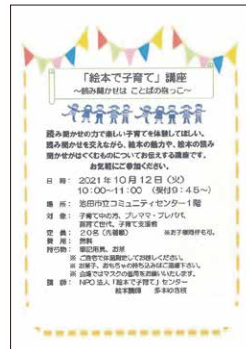
-絵本講師になったきっかけはなんですか？

大長：わが子がまだ幼い頃、家庭で絵本を読んだり幼稚園で読み聞かせをしたりする中で、絵本を読む楽しさに気がつきました。絵本のことをもっとよく知りたいなと思って、いるときに新聞で「絵本講師・養成講座」の存在を知りました。受講してみると絵本は楽しいだけではなく、絵本を読むことで子どもと自分がともに成長できることが分かり、子育ての強い味方なのだと思えました。

多本：私の場合は、ダウン症をもつ娘のことで育てのために読み聞かせを始めましたが、絵本で子育てをする楽しさを実感したことから、この思いを広く伝えたいと絵本講師の資格を取りました。今では地域のつどいの広場や児童発達支援事業所などで、

子育て中の親御さんに向けて講座を開催しています。

藤川：大長さんから「絵本講師・養成講座」の話を聞いて、先生方のお話が聞きたくなり、受講して絵本講師になりました。その後、支部を立ち上げ、池田市内で親子に向けての絵本講座を開催しています。何度も講座を聞きに来て下さる方がおられたり、講座への参加をきっかけに絵本講師の資格を取り、一緒に活動しているメンバーもいることになります。



トアエル文化祭&カレッジの動画撮影の様子



不安と緊張を乗り越えた
オンラインへの挑戦

-今回のトアエル文化祭&カレッジでは初めて動画で伝える取り組みに挑戦しました。オンラインには当初、抵抗も感じておられたようですが、いかがでしたか？

大長：トアエル文化祭&カレッジで活動についてお伝えする機会をいただき、ありがとうございました。時間や著作権の都合上、絵本の講座については、いつもよりも短縮してエッセンスのみをお伝えしました。撮影はとても緊張しましたがトアエルの皆さんと一緒に頑張りました。

日頃より、絵本を通じて身近な人から子どもたちへの語りかけや声かけ、生のコミュニケーションを大切にしているので、実際はお会いしないオンラインで行うことには不安がありました。ですが、この取り組みをすることによって、自分たちだけでは届けられない方々にもご縁ができるのではないかと考え、想いを伝えられるのであればとチャレンジしました。

絵本には著作権があり、オンラインで勝手に読み聞かせをしてはいけませんので、その点も慎重になりました。扱いたい絵本の出版社に「著作権利用」を申請して許可を得て、幸い数点の作品を使わせていただくことができました。

-この点は私たちトアエルスタッフにも、とても勉強になりました。絵本は大切な作品であり、正しく良さを伝えるためにも、著作権のルールはしっかり守る必要がありますね。



今後の
活動予定

2022年
4月23日
開講

詳しくはホームページをご覧ください
NPO法人「絵本で子育て」センター事務局までお問い合わせ下さい。



<インフォメーション・問合せ先>

NPO法人「絵本で子育て」センター

NPO法人「絵本で子育て」センター
〒659-0067 芦屋市茶屋の町2-21-405
TEL:0797-38-7516
FAX:0797-38-7939
http://www.ehondekosodate.com
E-mail: info@ehondekosodate.com



地域のバラエティあふれる活動や協働事例を発見して、
これからの自治会・地域活動について研究するコーナー
がスタート。初回は新町にある歴史の長い自治会「新町
会」のインタビューから、自治会の「イマ」を調査します。



新町会は、昭和
23年に設立した、

五月山と猪名川に挟まれた自然豊かなエリアにある自治会。明治時代から伝わる「新町だんじり(地車)」の巡行や、パソコン教室の開講(現在は休止中)、ワクチンの接種会場設置、老舗和菓子店の香月さんとコラボしての池田銘菓「新町だんじり三笠」の開発など、エネルギッシュな活動の秘密はどこにあるのでしょうか。そのヒントは、地域と「商い」の関係にありそうです。

商いのまちの自治会

新町には、38の商店が加盟する新町通り商店会があります。そう、新町は古くからの「商いのまち」なのです。「賑わいのあるまちにしたい、いいまちに住み続けたいという住民共通の思いが自治会活動につながっていると思います。商売人が多いので活動に必要なものが簡単にそろいます。」と、現会長の坂上さん、旧会長の前川さんは言います。

だんじりから
ワクチン接種サポ
ート
まで、商いのまちの
自治会、
新町会
を
リサーチ

相談役の設置や補助金の 活用など運営を工夫

会長職などの任期は2年1期。任期が終わると、引き継ぎのために会長は相談役として残り、次期会長をアシストします。「引き継ぎのスムーズさはさすがの一言でしたね。マニュアルが整っていますし、困った時も相談役がいるので安心です」と坂上さん。

新しいマンションが建つと、自治会のチラシを各戸にポストインして自治会をアピールして加入を促し、地域のつながりを日々結ばれているそうです。自治会費は年間3,600円(防災費を含む)ですが「何か新しい事業を始めようと自治会で決まったら、予算が足りないことも。そんな場合は市や府の補助金に応募しています」と前川さん。「ゴールデン大人食堂」(三寿会主導)も補助金を資金に運営しているそうです。

自治会
きほんの
き

町内会、町会などさまざまな呼び名がある自治会。市役所とは協力関係にありますが、独立した団体で、福祉・文化・防災・イベントなどのほか行政への提案などを行っています。池田市役所に届けのある自治会は約110団体、加入率は全国的に減少傾向にあり池田市は現在、約30%だそうです。

加入・設立するには

加入は引越の際に不動産会社から情報を得ることが多いようですが池田市コミュニティ推進課でも問い合わせに対応されています。設立するには、対象エリアを決めて名簿、規約などを作成するのが一般的です。設立した際は池田市役所にご一報ください。



各所と連携した事業を展開

自治会活動は世代間の絆づくりにも一役買っています。「孫世代の子どもたちにだんじりばやしを教えますが、何度も会ううちにお互い名前を覚えて、まちなかで会っても下の名前で呼ぶようになります」と言うのは、前会長の壇さん。顔見知りになったことをきっかけに、危険箇所を子どもたちと一緒に探してハザードマップにまとめたりする活動もされたことがあるそうです。

「ワクチン予約の電話が繋がらない、予約できな



(写真左より)

壇 正規 さん：相談役、R1-R2年度会長

坂上 昭栄 さん：R3-4年度会長

前川 吉晴 さん：旧会長、三寿会会長

い」とお年寄り世代が困っているのを知って、池田市に了承を得た上で民生委員や近隣薬局、医師会などと連携して新町会で接種会場を運営したそうです。「親世代に喜ばれて私たちも嬉しいですね」と壇さん。その取り組みが他の自治会の耳に入り「うちでもやりたい」と相談に来られた際は喜んで運営方法をレクチャーされているそうです。

今も昔も、支え合いながら地域活性化を行なっている新町会。今後は、コロナ禍で中止になっていた池田新町だんじりの巡行や、婦人会の活性化、子ども会の復活などに力を入れたいとのこと。「役員をやらされると思うから自治会に加入しない人も多いのではないのでしょうか。新町会は投票なので、いきなり役員なんてことはありません。役員もみんな楽しいからやっているんですよ。新町に引っ越してきて良かったと思ってもらいたいですね。」というみなさん。時代の流れを読み楽しみながら地域のつながりを育み続ける、重厚でかつフットワークの軽い自治会さんでした。

＜新町会と関わり深い団体の紹介＞

新町だんじり会／新町通り商店会／三寿会(さんじゅかい)：近隣の65～80歳の住民が加入／新町婦人会／新町こども会(休止中) など

＜新町会への加入方法＞

会長へ直接連絡を

＜インフォメーション＞

新町会 TEL / 072-752-5512 (会長 坂上)

●新町だんじり会



●新町通り商店会

